

立命館大学大学院
2021年度実施 入学試験

専門職学位課程

【専門職大学院】
経営管理研究科
経営管理専攻

入試方式	プログラム	実施月	論述	
			ページ	備考
社会人入学試験(筆記試験型)	マネジメントプログラム	10月	P.1～	
		1月	P.3～	
		2月	P.5～	
社会人入学試験(企業等推薦型)		10月		
		1月		
		2月		
社会人入学試験(自己推薦型)		10月		
		1月		
		2月		
一般入学試験(筆記試験型)	キャリア形成プログラム	10月	P.1～	
		1月	P.3～	
		2月	P.5～	
外国人留学生入学試験		10月	P.1～	
		1月	P.3～	
学内進学入学試験		7月		
		10月		
		1月		
		2月		
APU特別受入入学試験		7月		
		10月		
		1月		
飛び級入学試験		10月		
		1月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

2021年10月23日

2021年度実施（2022年4月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

<試験にあたっての諸注意>

- ・試験時間は、10時15分～11時15分です。
- ・持ち込み許可物件はありません。
- ・解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の**問題－A**もしくは**問題－B**のいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

労働生産性とは、インプットした労働力に対してどれだけのアウトプットが生まれたかを表す指標である。労働生産性について、以下の2問すべてに回答しなさい。

- 問1 2019年の統計データによると、日本の労働生産性は、主要先進国中で最下位である。なぜ国際的に見て日本の労働生産性は低いのか。この点について、できるだけ多角的に、10行以内で論じなさい。
- 問2 企業が労働生産性を向上させるためには、どのような方策が考えられるか。想定される実行上の課題にも触れながら、15行以内で論じなさい。

問題－B

日米の証券市場に関する以下の2問すべてに回答しなさい。

- 問1 2021年上半期（1月～6月）の米国テスラ（Tesla）の世界販売台数は38万6,050台、トヨタ自動車グループの世界販売台数は546万7,218台となっている。一方、2021年8月末時点における株式時価総額は米国テスラ（Tesla）が約81兆円、トヨタ自動車が約31兆円となっている。
- 販売台数がトヨタ自動車グループの10分の1以下の米国テスラ（Tesla）の株式時価総額がトヨタ自動車の2.5倍以上になっている理由と、今後、米国テスラ（Tesla）の株価がどのようになるかについて、あなたの考えを12行以内で論じなさい。
- 問2 2021年8月末時点における東京証券取引所市場第一部（上場銘柄数2,189）の時価総額は約728兆円となっている。一方、GAFAM（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン、マイクロソフト）の時価総額は約920兆円と、わずか5銘柄で東京証券取引所市場第一部全体の時価総額を上回っている。
- このように日本の株式市場の時価総額が米国株式の時価総額に比べて小さい理由について、あなたの考えを12行以内で論じなさい。

<以下、余白>

2022 年 1 月 22 日

2021 年度実施（2022 年 4 月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

＜試験にあたっての諸注意＞

- ・試験時間は、10 時 15 分～11 時 15 分です。
- ・持ち込み許可物件はありません。
- ・解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の**問題－A**もしくは**問題－B**のいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

2020（令和2）年国勢調査によると、日本の人口は1億2,614万6千人（同年10月1日現在）で、2015年から94万9千人減少、0.7%減であり、2015年国勢調査に引き続き人口が減少した。年齢別人口をみると、総人口に占める65歳以上人口の割合は2015年の26.6%から28.6%へと上昇したのに対して、15歳未満人口は2015年の12.6%から11.9%へと減少した。また、都道府県別にみると、2015年と比較して、8都府県で人口が増加し、39道府県で人口が減少した（総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計結果 結果の概要」参照）。

この国勢調査結果を参考にして、以下の2問すべてに回答しなさい。

- 問1 超少子高齢化とも言われる日本の人口の動向が、今後の日本経済にどのような影響をもたらすかについて、12行以内で論じなさい。
- 問2 小売企業は、日本の人口の動向を踏まえて、日本国内においてどのような市場を重視することが望ましいかについて、具体的事例を挙げて、12行以内で論じなさい。

問題－B

自動車業界のドミナント・デザインは、1908年にアメリカのフォード社が大量生産・大量販売の仕組みを整備したことに遡るといえる。その自動車業界は、100年ほどの時を経て、大変革期にある。それは、地球環境の変化とも無縁ではない。

そのことを踏まえ、以下の2問すべてに回答しなさい。

- 問1 自動車業界にどのような変化が起こっているのか、10行以内で論じなさい。
- 問2 問1の自動車業界の変化に対して、それぞれの自動車メーカーはどのような対応をとっているのか、あるいは、どのような事業戦略を策定しているのか、その具体的な事例を15行以内で論じなさい。

<以下、余白>

2022 年 2 月 19 日

2021 年度実施（2022 年 4 月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

＜試験にあたっての諸注意＞

- ・ 試験時間は、10 時 15 分～11 時 15 分です。
- ・ 持ち込み許可物件はありません。
- ・ 解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の**問題－A**もしくは**問題－B**のいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

近年、気候変動への対策が地球規模の課題として急務となる中、いわゆる「カーボンニュートラル」または「脱炭素化」に向けての動きが各国・地域で加速しており、これに伴い、企業も対応を迫られている。そこで以下の問1～問3に答えなさい。

- 問1 「カーボンニュートラル」または「脱炭素化」とは何かについて、10行以内で説明しなさい。
- 問2 「カーボンニュートラル」または「脱炭素化」の実現に向けて企業が取り組む理由や意義について、10行以内で論じなさい。
- 問3 「カーボンニュートラル」または「脱炭素化」の実現に向けた企業の取り組みの具体例について、10行以内で論じなさい。

問題－B

あなたの最近の購買の中で「良い買い物をした！」と実感したものを1つ挙げ、以下の2問すべてに回答しなさい。

- 問1 その商品（あるいはサービス）の特徴及びあなたにとって「良い買い物」だった理由を12行以内で説明しなさい。
- 問2 その商品のメーカー（あるいはサービス企業）の強み及びマーケティング方法について12行以内で論じなさい。

<以下、余白>